

日刊 勤労千葉

85. 10. 4
No. 2055

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（二二）七二〇七

訪朝報告(下) 山口敏雄

（勤労千葉副委員長
千葉県労連常幹）

日朝友好千葉県労連訪朝団に参加して

社会主義建設に前進する 朝鮮民主主義人民共和国

一九四五年日本帝国から解放、さらに一九五〇年アメリカの朝鮮侵略による三年間の南北戦争を経て、現在金日成主席の指導のもとに三大革命をもって独自の社会主義建設をめざし力強く前進している。その第一は、思想革命、「革命と建設の主人は人民大衆であり、革命と建設をおし進める力もまた人民大衆にある」との思想改革が全人民によって進められている。第二に、技術革命として工業、農業に技術革新が進められている。特に穀物生産をあげるための三〇万ヘクタールの海面干拓とダム建設が急テンポで建設されている。第三に、文化革命として、知識を高めるため平壤市内にある人民大学習堂は建築面積十万平方米メートルで講義室、閲覧室をはじめ六〇〇余の部屋があり、日に一万二千名の労働者が勤務後

に、学生は放課後に勉強し、インテリ化が進められています。

教育と医療は 国の負担

義務教育は、幼稚園一年、人民学校四



祖国解放の大志として建てられたがいせん門。



の協働を示す三〇Mの銅像。後方は一五〇Mの「主体の塔」。

また医療関係の設備についても重点がおかれているが、医療費は全部国が負担することなど、社会保障制度は進んでいると思われました。

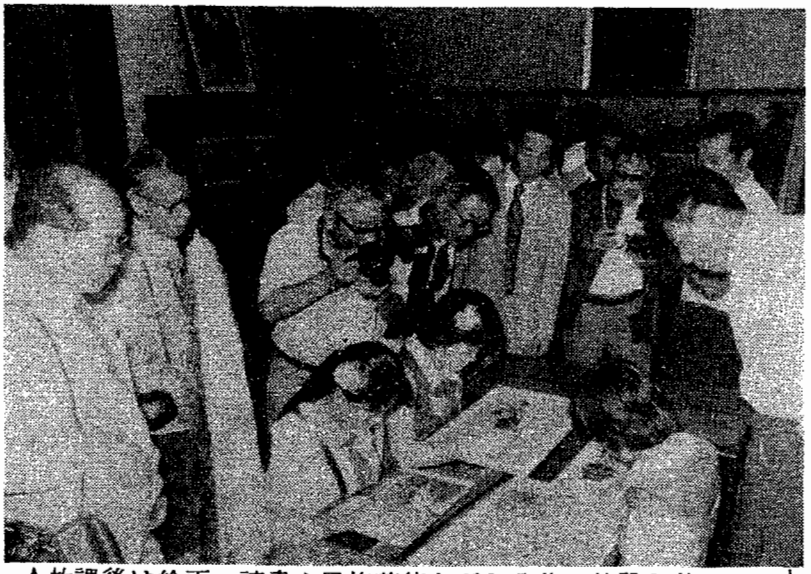
朝鮮の自主的平和統一に向けて

朝鮮では赤十字会談をはじめ南北対話がはじまっています。民族統一実現が朝鮮人民の最大の願望であることを今回の訪朝で感じました。また同時に、戦前戦後を通じ、朝鮮人民を搾取し収奪しつづけ、南北の分断、固定化に手をかす日本帝国主義を倒すことこそ、真の朝鮮人民との連帯の道だと実感しました。

その意味でも、勤労千葉は、この間「三里塚と国鉄」を基軸に軍事大国化阻止に向けて、反動中曾根と対決し、真に闘う戦線の構築を目指していることに、さらに確信を深めることができたと思います。以上、極めて不充分だと思えますが、全組合員のみなさんに再度お礼を申し上げます。訪朝報告を終わります。

(了)

国鉄「分割・民営化」阻止 / 三里塚二期着工粉碎 /



▲放課後は絵画、読書や民族芸能などを公共の施設を使っておこなう。刺しゅうにはげむ子供たち。（平壤少年宮殿にて）



▶北側から見た南北会談の板門店。軍事境界線の真上に「会談場」が。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！